

ピアノ

公共施設になんとか置かれていることの多いアップライトピアノ。施設によっては全く使われていない例も少なくありませんが、アウルのレストランにあるピアノは、日々活躍しています。

毎月の音楽レクリエーションでは先生が伴奏に利用。毎年春と

秋に開催しているレストランコンサートでは、プロのピアニストが素晴らしい演奏を披露。ご入所者様が趣味として演奏を楽しまれることもでき、白黒の鍵盤は埃をかぶる間もなく、いつもピカピカです。

実はこのピアノ、中学生までピアノの先生を目指していた施設長が自宅から持って

きたものです。アウルで多くの方

に弾いてもらえ、ピアノも施設長も喜んでいます。



スタッフ リレーエッセー

今日という日にわくわく

「いえいえ」「ころころ」「さらさら」。これらは童謡や唱歌の中に出てくる繰り返し言葉で、口ずさまれたことのある方もいらっしゃるでしょう。

「わくわく」という繰り返し言葉は、歌詞の中より心の中にありませんか？ 子どもの頃はいろいろなことがわくわくの対象だったのに、最近は少なくなっていると感じます。先日、新聞で「今日を生きた人はいない。一日の始まりは誰にとっても初体験の一步なんだ」という言葉が目に残りました。誰もが未知の一步を歩き出していることを改めて感じ、胸が躍るような気がしました。

日野原重明氏、柴田トヨ氏はともに今年百歳を迎えられ、ご活躍は皆様の知るところです。お二人とも何事にも興味深く丁寧に一日を迎え送られる「わくわく」の実践者のような気がします。私もそうありたいものです。



介護職員 池田美津江

今日のらんこ



ピンクのハチマキで紅白両方を応援!

アウルコート
のいやし課長
キャバリアの
「らんこ」です

ことばのトピラ

安全確認

安全な暮らしに
日々の万全チェック

災害時スムーズに避難できる環境か、家電製品の取り扱いに誤りはないかなど、重点的に点検。快適で安全な暮らしを続けていただくため、火災をはじめとする非常災害に備えています。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3

TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133

入居相談受付中 ☎0120-916-768

- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
- じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗り(約5分)「南町4丁目」下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内

検索

<http://www.owlcourt.jp>

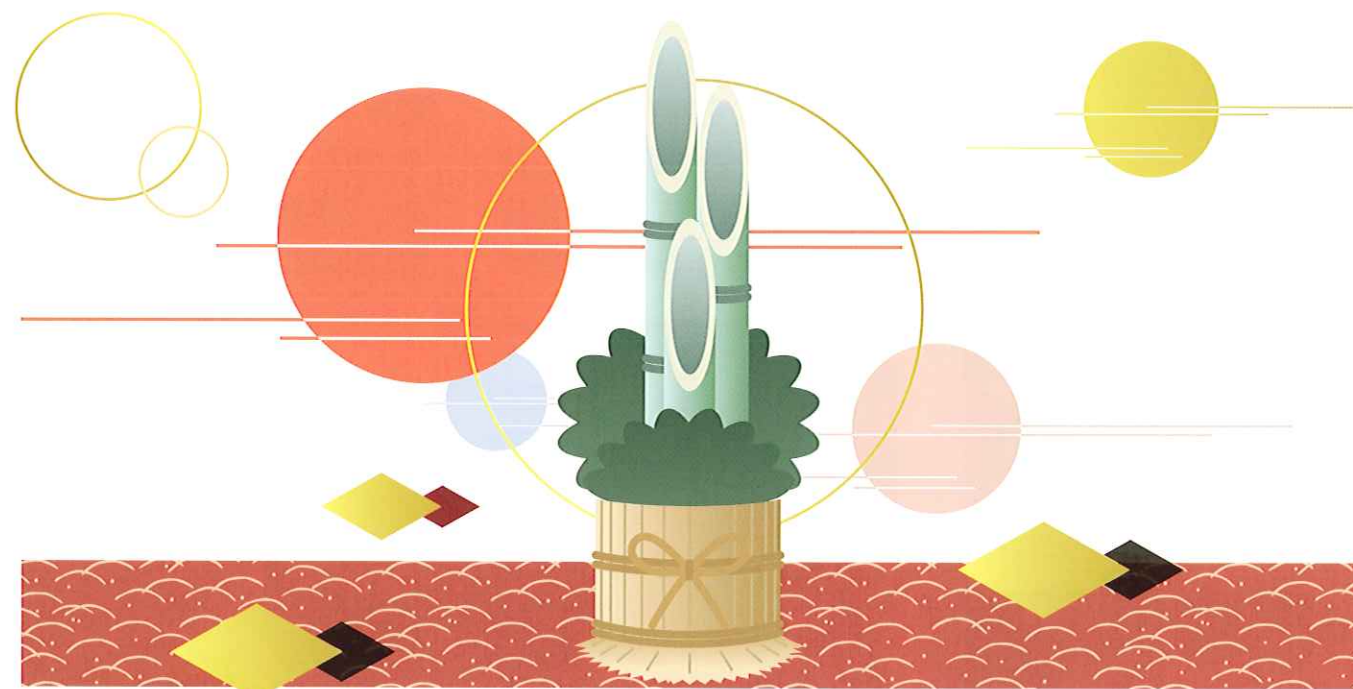


ふくろうの家

その21
2012年1月

●発行/株式会社私の青い空

●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



節電の今

去年は3.11東日本大震災の影響で、東京電力の原子力発電の障害のため関東方面等では節電が叫ばれていました。今から50年ほど前、私が小さい子どもの頃、家には冷蔵庫、洗濯機、テレビさえありませんでした。暑い時は井戸の水を使い西瓜を冷たくし、夜は蚊帳を張って休むことも多かったと思います。文明の利器はほとんどない、身の回りにあるもので済ませていたような時代でした。しかし、今この豊かになった生活の中で、それらを皆無にすることは不可能かと思われます。

広島、長崎で被曝した日本は今、原発の放射能で被曝にさらされていますが、原発の廃炉処分は太陽光、風、流水、地熱等の自然エネル

代表取締役 武田 治信

ギーによる発電の目処を十分に可能にした上でなければ厳しいと考えます。代替エネルギーも初期投資にかなりの費用がかかり、耐用年数には限界が訪れます。このあたりのことについては、去年出版された池澤夏樹氏の『春を恨んだりしない—震災をめぐって考えたこと』が今を捉えていると感じ、明日に向かって進むための参考になりました。

もはや、『オールウェイズ 三丁目の夕日』の世界には戻ることができない状況かと。そのためにも、新しい電源の確保、技術の確立に邁進し、安心して暮らせる安全な世界を目指してほしいと願います。そして、新しい年を、しっかりと地に足をつけた日々となるような1年にしたいと考えます。



▲紅白の代表が元気に選手宣誓



▲座ってできるボール送りで白熱



▲車いすの方々で玉入れ



▲食べ方自由のパン食い競争

人気定着の予感、初めての朗読会

「スポーツの秋」の次は「読書の秋」。ご近所の縁で朗読ユニットつばささんのご協力をいただき、初めての試みとなる朗読会を11月19日(土)に開催しました。

取り上げた本は、絵本からミステリー小説までの多彩な3冊。文章をただ読むのではなく、短い時間で描かれている物語を

紅白の真剣勝負、2回目の大運動会

一昨年秋に初めて実施した好評だった大運動会を、2011年にも行いました。10月15日(土)、ハチマキ姿のご入居者様がレストランスペースを会場として、紅白に分かれて勝敗を競いました。

昨年同様、車いすの方も楽しめるよう、座ったままでできる競技を中心に構成しました。団体競技では、人数合わせに職員が

加わると「そっちは若い人が多いから、人数を合わせて」と公平を求める声上がるなど、皆さん真剣そのものです。

優勝のかかった最後の競技は、ご入居者様と職員がペアで行う一風変わった借り物競争でした。札には仮装コスチューム名が書かれ、別室で着替えた後、会場を一周してゴール。あまりの変身ぶりに、皆さんやんやの歓声。2011年の軍配は白組に上がり、2年目の大運動会は幕を閉じました。



▲会場大爆笑の借り物競争。MVPはひげダンスのご入居者様(中央)が獲得

深く楽しめる工夫が随所にありました。最後にはBGM・効果音役を務めたギターの演奏もあり、会場から大きな拍手が送られました。

参加されたご入居者様には、本好きの方はもちろん、これまでイベントに出たことのない方ももちろん。いろいろなタイプのイベ



▲情感たっぷりの朗読。ミステリーの結末には一同が息をのんだほど

ントを企画する必要性を職員が実感する機会ともなりました。アウルの定番となる秋の行事がまたひとつ増えそうです。

2011年を振り返り、昨年秋の行事をリポート スポーツと読書で秋を満喫



アウルの四季彩々日記

外出でも秋を楽しんだ 紅葉狩り& 外食ツアー

紅葉が山々を彩る10月、季節の景色と味覚を楽しむ外食ツアーにでかけました。19日(水)・20日(木)・26日(水)・31日(月)の4回、プリンスホテル最上階のレストラン「トリアノン」と高台に建つ藻岩シャローム教会内のレストラン「サロット・デ・カナ」を交互に訪れ、色づく街並みを眺めながらフランス料理を味わいました。



●10/1(土)

手打ちそばに舌鼓

そば打ち職人の方においでいただき、技を見学。昼食は打ち立て・茹でたてのもりそばと、天ぷら、茶碗蒸し。新そばで秋らしい季節感も味わいました。



●11/16(水)

職人が握る生寿司

調理の制約で、夏場にお出することの少ないお刺身。この一番人気のメニューを、寿司職人の方においでいただき、握りでご堪能いただきました。



●11/17(木)

恒例のアウル漬け

アウル農園で採れた大根で、しょうゆ漬けをつくりました。今年の大根は大きく、最高の出来。約15kgを漬けましたが、2週間も経ず食べきりました。

